

かつて使用されていた印

廃止手続きの完了した73個の公印・銀行印などを総務課より受贈しました。将軍山会館2階で一部を展示していますので、ぜひご覧ください。



目次	将軍山会館利用者アンケート結果発表 ……	2
	展示のご案内 ……	4
	活動報告 ……	6
	寄贈資料の紹介 ……	7
	活動日誌 ……	8

将軍山会館 利用者アンケート 結果発表！

アンケート期間 2019年4月9日（火）～7月24日（水）

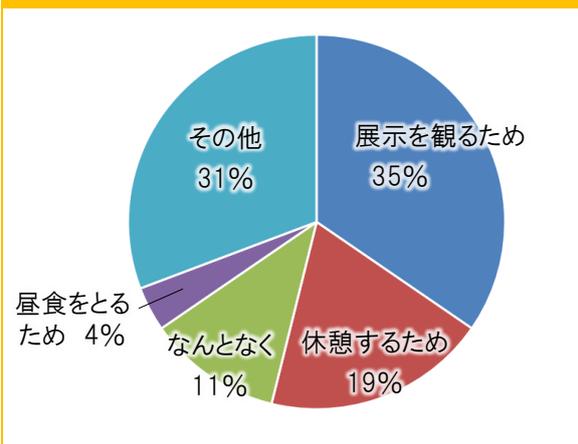
回答数 27人

ご協力いただき、ありがとうございました

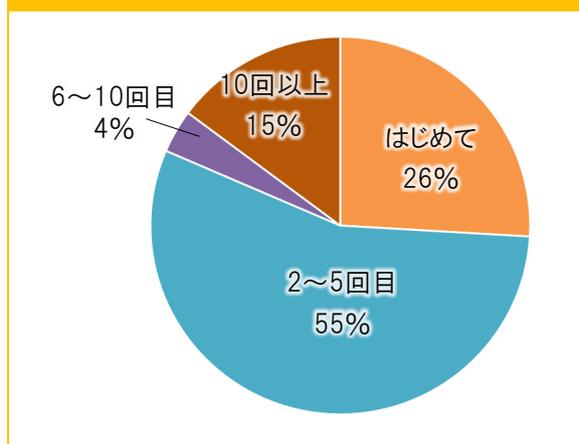


『130年志』刊行記念企画展「追手門130年の先へ」の開催に合わせて
将軍山会館をよりよい空間にしていくために、利用者の声を集めました。

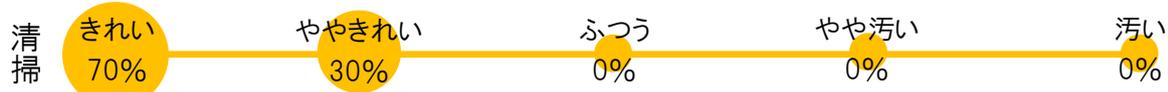
来館の目的を教えてください



来館は何回目ですか？



館内の環境を5段階評価してください



お気に入りのスポットを教えてください



1階の展示室 (29%)



2階の展示室 / 1階のロビー
(同率19%)



中庭 / 地下のロビー / トイレ / ソファ
(同率7%)



どんな展示が観たいと思いますか？



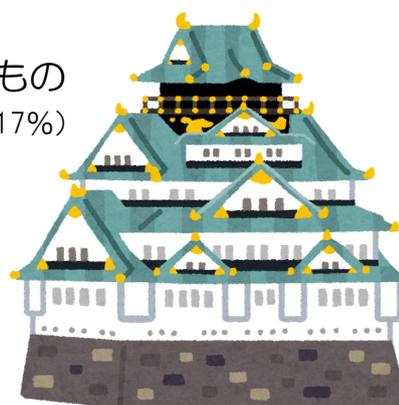
今のままでよい / 卒業生に関するもの
(同率17%)



大学に関するもの (14%)



大阪に関するもの (10%)



今後、将軍山会館をより良くしていくためには何が必要だと思いますか？

- ✓ 2人席を作ってほしい。(大学生)
- ✓ 1階にテーブルを増やしてほしい。(大学生)
- ✓ イスを増やしてほしい。(大学生)
- ✓ イスやソファなど更に充実したものにして欲しい。(大学生)
- ✓ たくさんの方が来るような「何か」が欲しい。(大学生)
- ✓ 入りやすい雰囲気作り・宣伝。(大学生)
- ✓ 卒業生に関する展示物を導入していく。(大学生)
- ✓ 1Fでイベントをしている時は、地下から出入りできるようにしてほしい。
休憩しに来た時に少し入りづらいことがある。(大学生)
- ✓ 中庭のテラスがとても良いので更に活用できると良いと思う。(教員)

……など、たくさんのご意見を寄せていただきありがとうございました！

展示のご案内

将軍山会館2階にて展示「災害から身を守れ～あなたの部屋は大丈夫？追手門の被害から考えよう～」を開催しています。これは大学の学芸員資格課程の授業のうち「博物館実習」（瀧端真理子先生・宮元正博先生）の一環として、実習生が企画した展示です。

企画は学生がプレゼンをおこない、合議によって昨年6月の大阪府北部地震をテーマにすることとしました。その理由は、自分たちも被害者のひとりであり、身近に感じられたためといいます。

追手門学院大学は震源地の近くにあり、建物などの被害が大きかったわけですが、その恐ろしさに焦点をあてるのではなく、将来の災害への備えを考えるものになっています。

実習生に体験記を寄せていただきましたのでご紹介します。



2019年9月17日（火）～
9:30 - 17:00（入館は閉館の30分前まで）
休館日 土日祝・大学が定める休業日

将軍山会館 追手門学院大学 安威キャンパス



将軍山会館での展示実習で私はチラシやポスター作りなどの広報を担当しました。チラシなどは展示をまだ見ない人の目に入るものなのでいかに簡潔に展示内容を伝えられるか、雰囲気を作り出せるかが制作上で重要だと感じました。案を出す段階で実際の展示のイメージが湧かず苦戦しました。しかし、展示を作り上げていく中で少しずつ仲間とのイメージの共有ができていくことで無事に完成までたどり着くことができました。



ポスターやチラシを見て興味を持ち、多くの人が将軍山会館へ足を運び何かを感じてもらうことができれば嬉しいです。

（社会学部3回生 小島恵）

今回の展示を実際に自分たちで行い、展示を行う事の大変さ、準備や知識の大切さを学びました。そして、話し合いを繰り返すことでより良いものが出来上がることを実感しました。展示のテーマである大阪北部地震について調べるにあたり、私達の知らなかったことや知っておくべきこと、様々な発見がありました。この展示を見て、多くの人が地震について今一度考え、そして命を守るための行動へのきっかけとなって貰えたら嬉しいです。



（社会学部3回生 帖地まりな）

二日目はパネル作成から始めました。前日までに準備したデータを印刷してパネルにした後は展示物をケースの中に並べました。距離感やバランスを考え、整えながら並べることに力を入れたので綺麗に並んでいると思います。二日間の学内展示の準備はギリギリで進んでいたのが本当に間に合うのか不安でしたが、二日間で終わらせることが出来ました。授業もずっと学内展示の準備していた中での集大成という形だったので達成感もありました。

（地域創造学部3回生 斎藤信太郎）



追手門学院幼稚園は、学院創立80周年記念事業として大学の設立とともに計画され、昭和44（1969）年に創設されました。今年で50周年を迎えます。これを記念して、将軍山会館では追手門学院幼稚園創立50周年記念企画展を開催いたします。

追手門学院は幼稚園が創設されたことで幼、小、中、高、大・大学院をすべてそろえた総合学園となりました。以来、幼稚園と大学とはさまざまな取り組みのなかで連携を深めてきました。

今回の企画展では幼稚園の全面協力のもと、園の歴史を伝える貴重な品々や、園児たちによる作品など、普段の大学キャンパスではみる機会のない魅力あふれる展示物をご覧ください。追手門学院ならではの展示です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



終わった…。展示作業を終えてまず思ったことである。私は実習のリーダーを務めた。6月はスケジュールがやや遅れ、非常にあせっていた。だが、「絶対にこれは今日決めきろう!」という先生のお声掛けやメンバーのおかげで、7月は怒涛の勢いで様々なことが決まっていっていった。8月の展示作業も私は手先が非常に不器用で、これもまたメンバーのおかげで無事にできた。一人では不可能でもみんなとやれば成し遂げられた。メンバーに感謝したい。
(心理学部3回生 奥田紗世)



川原理事長・学長による挨拶

2019年6月14日（金）、全国大学史資料協議会西日本部会の2019年度総会および第1回研究会を本学安威キャンパスで開催しました。会員校や個人会員など約40名にお越しいただきました。

開会に先立ち、本学の川原俊明理事長・学長に会場校挨拶をいただきました。当初、同時刻に学内会議が予定されていたため、ご挨拶いただくことをあきらめていたのですが、会議の開始時間を遅らせてご登壇くださいました。

研究会では、齊藤一誠先生（国際教養学部副学部長・教授、学長補佐、学院志副室長）による講演「周年事業における史料アーカイブとエクスポジション」が行われました。参加者からは、周年事業が資料のアーカイブ化に繋がる契機になることを実感したという感想や、資料の整理・保存方法についての質問が出ました。

講演後は、将軍山会館の見学をしていただきました。常設している絵画「青が散るによせて」や企画展「追手門130年の先へ」などをご覧いただきました。



研究会の様子

その後、食堂棟に場所をうつして研究交流会を行ないました。開催にあたり庶務校・幹事校のみなさまには大変お世話になりました。ありがとうございます。

2019年3月10日（日）、

ドーンセンターでパネル展

ドーンセンター（大阪市中央

区）で、創作オペラ「ザ・ラストクィーン」が上演されました。このオペラは、梨本宮家に生まれ、旧大韓帝国の皇太子・李垠殿下と結婚した李方子の一生をモデルに制作されたものです。

上演会場のロビーでは、学院志研究室が所蔵する李王一家の写真をパネルにして展示しました。これは李垠殿下が1940（昭和15）年に妻子をともなって大阪の陸軍師団に赴任なされたため、息子の李玖殿下が大阪偕行社附属小学校（追手門学院の前身校）に11ヶ月間通われた頃に撮られた貴重な写真です。



寄贈資料の紹介

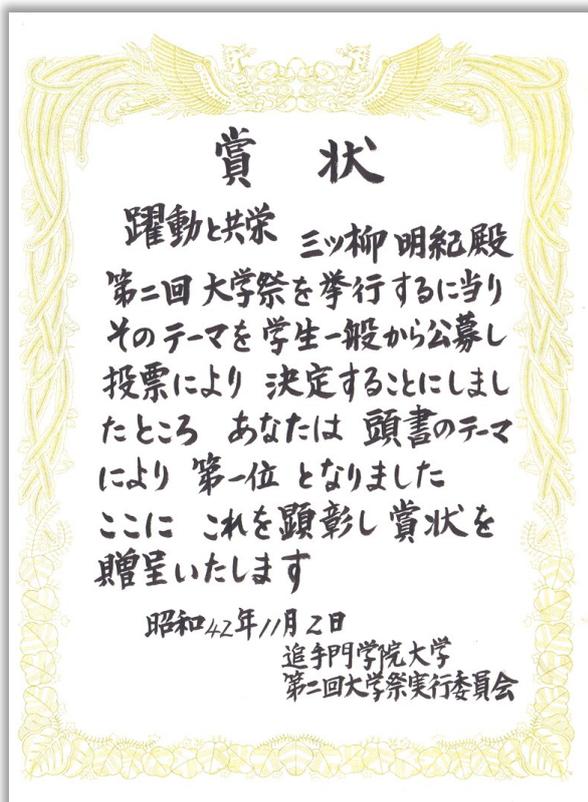
大学1期生の三ッ柳明紀さんより

日本交通分県地図(39枚)

皇太子(のちの昭和天皇)ご成婚の記念に大阪毎日新聞社が出版した地図(全47枚のうち39道府県分)です。1923(大正12)年10月から各道府県別に順次発行されました。



大阪府の地図には、大阪府全体とともに大阪市の中心部が拡大して描かれています。大阪市街地には大阪城と、大阪城近くに⊗の記号があり、追手門学院の前身である大阪偕行社附属小学校の場所を知ることができます。



1967(昭和42)年11月に行われた第1回将軍山祭(第2回大学祭)のテーマ投票で第1位を受賞されたときの賞状と盾です。賞状には「第二回大学祭」、盾には「将軍山祭」とあります。これはテーマと同様に、実行委員会が大学祭の名称をこのとき学生一般から公募し投票によって「将軍山祭」と決定したためと考えられます。



資料の寄贈・提供のお願い

学院志研究室は、追手門学院の歴史および学院関係者の事跡に関する資料を広く収集しています。学院に関する資料がありましたら8ページ下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

活動日誌

(2019年6月～9月)

主な活動

6月 3日	第1 資料室にて博物館実習
4日	第1回室員会議 (将軍山会館2階会議室)
12日	将軍山会館のオーストラリア製自動ピアノを修理
14日	全国大学史資料協議会西日本部会総会・第1回研究会を開催
25日	学院志研究室News Letter第10号を発行
7月 2日	第2回室員会議 (将軍山会館2階会議室)
10日	兵庫県立尼崎北高等学校の学生17名と教員2名が将軍山会館を見学
24日	企画展「追手門130年の先へ」の会期終了
31日	三ツ柳明紀氏宅にて聞き取り調査 (藤吉室長、小倉、篠原、尾崎)
8月9・10日	将軍山会館にて博物館実習
9月 17日	追手門学院幼稚園創立50周年記念企画展を開催 (2020年1月17日まで)



学外からの資料寄贈

- ◇ 三ツ柳明紀氏 (大学第1期生) から、地図・賞状・盾など。
- ◇ 藻川芳彦氏 (大学第8期生/校友会理事) から、追手門学院小学校構内の大阪城石垣の現説資料など。
- ◇ 辻村龍彦氏 (大学第1期生/校友会監事) から、茨木総持寺キャンパスの工事記録写真パネル。

編集後記

ニューズレター11号をお届けします。学院志研究室と将軍山会館が連携するようになって活動も少しずつ活発になってきています。博物館実習に学院志研究室・将軍山会館が協力する取組みも今年で2回目になります。「過去」を整理・保存するという地味で地道な作業を活かせる機会を今後も開拓していければと考えています。 (藤吉 圭二)

追手門学院大学 学院志研究室 News Letter 第11号

2019年10月21日発行

■お問い合わせ先■

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15



archives-g@otemon.ac.jp

資料室 ☎ 072-665-5062 (内線4405)

バックナンバーはホームページでダウンロードいただけます



将軍山会館 ☎ 072-641-7693 (内線3800、3801)

